

土木学会平成23年度全国大会研究討論会(研-16)
土木分野におけるNPO活動と土木学会の役割
日時:平成23年9月9日(金)12:40~14:40 場所:愛媛大学城北キャンパス教育学部2号館大講義室

地方からの国際化、 地域での環境連携

竹内 よし子
NPO法人えひめグローバルネットワーク代表

今、世界で起きていること

地球温暖化、旱魃、洪水、飢餓、
紛争、貧困、人権抑圧、
種の絶滅、環境破壊、
格差社会……

今、日本で起きていること

震災、原発事故、放射能汚染、
少子高齢化、農山村の過疎、
コミュニケーション不足、
いじめ、自殺……

ところが……

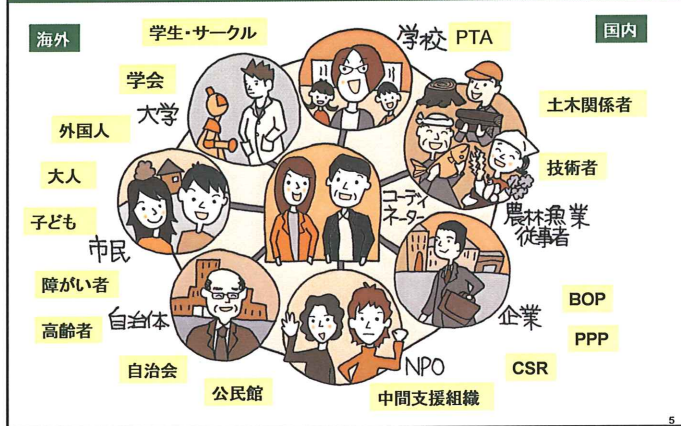
世界で起きていること

日本で起きていること

つながっていない

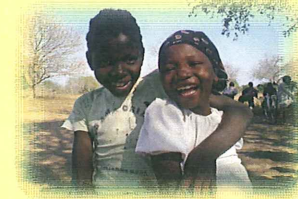
自分たちの暮らし、しごと

課題を解決・改善する「新しい公共」を担うために
縦横・内外につながるしくみ・仲間が必要



えひめグローバルネットワークのビジョン

あらゆる人々が、
人として平和な日々を
おこなうことができる
持続可能な
社会の実現！



えひめグローバルネットワークのミッション

- 1) 人として対等な立場で支援を必要とする人々の社会的・経済的自立を援助するため、市民参加による国際協力活動を実現します。
- 2) 国際協力活動を促進し、多文化共生社会を実現するため、グローバル教育の普及に取り組みます。
- 3) 私たちのビジョンを追及するため、地域・国内・海外の市民や諸団体とのネットワークを構築します。

えひめグローバルネットワークの主な活動紹介

1.国際協力活動

モザンビーク支援、フェアトレード促進、外務省NGO相談員

2.環境保全活動

環境省四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)、大川清掃

3.教育活動

国連「持続可能な開発のための教育の10年」(ESD)の促進
講演・勉強会・研修・ワークショップの講師、開催

4.ネットワーク

四国NGOネットワーク、四国コミュニティレストランネットワーク、
「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)
日本・モザンビーク市民友好協会、など

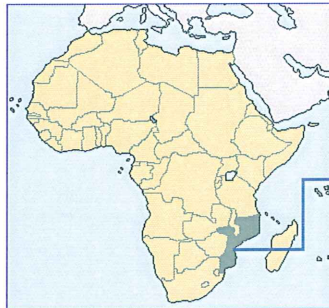
「地方からの国際化」と「地域での環境連携」の 共通点は ESD のコンセプト

1. ESDとは「持続可能な開発のための教育」の英語 (Education for Sustainable Development) の頭文字。
2. 2002年、ヨハネスブルグサミットで日本 (小泉首相) が提唱。2005年～2014年までUNESCO (ユネスコ) がリード機関となり世界中、日本中で取り組んでいる。
3. ESDは、今の「持続不可能な社会」を、「持続可能な社会」へ発展させていくため、必要な知識、価値観、生活様式などを学び、できることから実際に行動していくことを重視している。
4. 松山市は、自治体国際化協会のモデル事業 (H21、22年度) を通じて、えひめグローバルネットワーク等と協働し、「ESD コーディネーター派遣制度」をH23年度より実施している。

地方からの国際化を担う 「銃を鋤へ」プロジェクト・・・+ESDへ

1. アフリカ・モザンビークは、1992年に内戦が終結。「銃を鋤へ」というプロジェクトは、独立戦争とあわせ、30年近く続いた戦争状態から歩みだした「平和への道のり」で、必要とされたプロジェクトで、名前はイザヤ書の聖句より引用された。
2. 現地NGO (CCM) が中心となり、政府・軍隊・警察が協力して実施。平和教育の普及とともに、自転車等と交換しながら武器を回収。現在、100万個以上の銃や弾薬を回収している。
3. えひめグローバルネットワークは、2000年から自転車等の支援物資を6回600台輸送した。学校における平和・人権・国際理解・環境など、さまざまな切り口で「ESDの学び+実践事例」として紹介されている。市民活動と教育活動をつなぎ、自治体、大学、企業、NPO間をつなぐ事例となっている。

モザンビーク共和国



・面積：日本の2.1倍
・首都：マプト

モザンビークの課題

武器・地雷の残存、貧困・格差、
インフラ (水・電気・道路・病院・学校等) の未整備



モザンビークの取り組み

武器回収、武器アート創作
自転車、足踏みミシンの活用



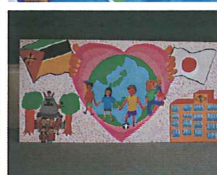
地域・松山での取り組み

平和学習、放置自転車問題への気づき、
自転車輸送、募金活動、発表・共有



地域・松山での取り組み

新玉小学校がモデル校
小学校で四国初のユネスコスクール認定校



国家元首初来県 (2008年5月)

ゲブーザ大統領が愛媛を訪問
愛媛大学、愛媛新聞、(株)愛亀



2009年3月9日
愛媛大学とルリオ大学が調印

大統領、外務大臣、
教育文化大臣、
住宅・公共事業大臣を
含む33名のモザンビーク人と、松山市民が
レセプションで交流



地域での環境連携を促進する 大川清掃とESD

1. 2005年、「大川二級河川」のゴミ問題が悪化。「愛媛県愛リバー」に登録し、年2回以上の河川美化清掃を開始。
2. 2005年度から始まった愛媛大学現代GP環境ESD講座のフィールドワークで「大川清掃」を実践。大川がESDとつながった。
3. 2008年11月22日、環境省・水辺の環境保全事業イベント「つなげよう！身近な水辺 エコの輪！」を実施。大川流域の小・中学校で校区を越えたつながりが生まれ、水生生物調査も実施。
4. 2009年、徳島より「正法寺川を考える会」が松山研修を「大川」で実施。県域を超えて「四国の川の環境保全」へ意識が広がった。
5. 2005年～2011年までの間、愛媛県中予地方局河川砂防課、他のNPOと連携しつつ保全・美化活動を実施。

大川での活動(二級河川)

法河川指定年月日: 昭和4年5月1日

上流端: (左岸)松山市道後北代4番3地先

(右岸)松山市祝谷3丁目41番1地先

下流端: 海に至る

流域面積: 16.30平方キロメートル

河川総延長: 8,497.5メートル



えみめグローバルネットワークは、2005年5月に愛媛県愛リバーサポーターに登録



河川美化の取り組み

ペットボトル、アルミ缶、レジ袋、傘、
トレー、布団、炊飯器、トースター……



護岸への取り組み

川底の低下による配水管の露出

豪雨による石垣の崩れ

護国神社、愛媛県河川部土木課との連携



河川美化の取り組み

清水小学校、東雲小学校、湯築小学校
中学生、高校生、大学生、NPOとともに



四国環境パートナーシップオフィス

Shikoku Environmental Partnership Office



環境省・環境パートナーシップオフィス(EPO)は、四国を含め、全国に7箇所設置されている。

目指すのは、持続可能な社会

持続可能な四国！

知りたい！活動したい！
みんなの力で問題解決

いろいろな環境問題
温暖化・自然・ごみ・エネルギー etc



四国EPOの役割

分野や地域を越えて、
お互いの経験や知恵を学び合い、
共有できる場や仕組みを設けること



みんなで共通課題を解決したり改善できる
よう、場を設けたりサポートを行うこと

四国EPOは、人・分野・組織・地域をつなぎ、
共通課題を解決するために場をつくり、サポートします。



四国EPOの主な活動内容

- ・ 情報発信
- ・ 意見・情報交換の場づくり
- ・ 相談・コーディネート
- ・ 書籍等の貸出し
- ・ ネットワークづくり
- ・ 環境教育サポート
- ・ 政策提言
- ・ 持続可能な開発のための教育(ESD)

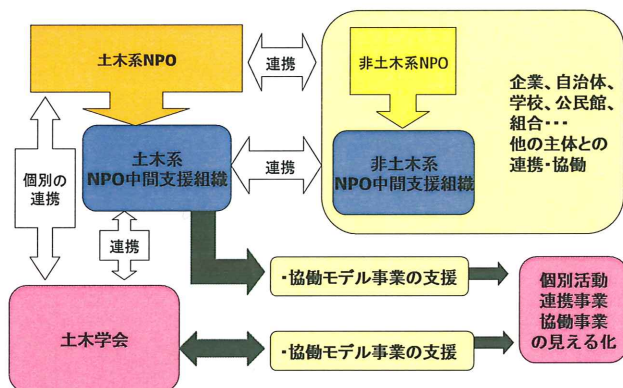


その他NPOとの連携(可能性を含む)

1. 2008年4月、故宮本氏よりえひめグローバルネットワークに遺贈された家屋を、建築関係者と市民が改築し、「フェアトレードカフェ&雑貨WAKUWAKU」として活用。愛媛県産材を8割使用し、バリアフリーとしている。
2. 道路建設会社が、カンボジアからの研修生を受け入れ、道路づくりの基礎を教え、現地で役立てている。
3. 四国EPOは、「四国の水・川」をテーマとした読本を作成中。「四国」の視点を取り入れ連携・つながりを意識。
4. 「四国コグウェイ」は、四国を自転車旅行のメッカにすることを目標として「ディスカバリーライド2011」を実施。(2011年9月10日～20日) 自転車走行の快適化を提案予定。

26

土木系NPOとの連携(案)と 中間支援組織への期待(案)



ご静聴ありがとうございました。

NPO法人えひめグローバルネットワーク

連絡先: 愛媛県松山市東雲町5-4

Tel& Fax: 089-993-6271 E-mail: wakuwaku@egn.or.jp

HP: <http://www.egn.or.jp>